



地域貢献活動促進セミナー「大型店の地域貢献活動 次の一歩」

集客施設の地域貢献活動とまちづくりへの効果

ビズデザイン株式会社 木村 乃



1. さまざまなカタチの地域貢献

2. 事例～地域に密着すること

3. 地域貢献とCSR(企業の社会的責任)

4. 大型店は何をなすべきか

1. さまざまなカタチの地域貢献

利益処分型

本業
イノベーション型

2. 事例～地域に密着すること

「客が望む商品は、たとえ1人の客のためにでも仕入れて陳列する」

「半径500メートルの住民を100%顧客にする」

「1日1回以上、店に来てもらう」

2. 事例～地域に密着すること

「70歳以上のお客様や体の不自由な方には、ティッシュ1箱から**“しあわせ宅配便”**」

「惣菜は**すべて手作り**」

「会員ポイントを地域の商店街で流通する**“地域通貨”**に」

2. 事例～地域に密着すること

横須賀市久里浜地区の商業集積を大型店も含め**一体のショッピングモール**として捉え、「**一体であれば同じ電子マネーが使えるのが当然である**」という考えの下、商店街の店舗の約2割に**イオンの無償提供により24万円／台で68台端末機が導入**され、WAO Nカードを導入した**全国初の商店街**。
(2008年12月20日より)

2. 事例～地域に密着すること

- 大型店開業前から**商店主導**でWAONカードの会員募集。
- **一体のショッピングモール**として商圏の拡大を図るため、**配布部数の多い大型店**と合同で年4回の合同チラシを発行。
- 全国に報道され、**イオンとしても地域貢献のPR**に。

2. 事例～地域に密着すること

- 岡崎まちゼミの会
- 代表 松井 洋一郎氏
- 「**得する街のゼミナール**」
- 商店街の店が講師となり、プロならではの専門的な知識や情報、コツを無料で受講者(お客様)に伝える少人数制のゼミ。
- 店の認知促進、**顧客との信頼関係づくり**が目的。

2. 事例～地域に密着すること

- 平成14年より商工会議所の呼びかけでスタート。
- 年2回開催。平成25年夏で**22回目**
- 岡崎市の中心市街地では**80店舗**、**110以上の講座**。
- 毎回**1500名近く**の参加者。

2. 事例～地域に密着すること

- 講座の評価(100点満点) **91.8点**
- 先生(店主等)への評価
「とてもよい」+「よい」=**91.8%**
- 講座内容への評価
「とてもよい」+「よい」=**91.2%**
- 今度●●(まちの名前)に来た際、お店に立ち寄りたいか。「はい」=**90.1%**
- 次回、お金を使って商品の購入やサービスを受けたいと思うか。
「はい」=**75.4%**

2. 事例～地域に密着すること



なんでもある
ほかにはない
**machi
miro**
まちだのマチ
もっとミロ。

「街ゼミ」を見習って、東京都町田市では昨年
11月23・24日に「マチミロ」を開催。
講座実施店舗等は23件。
2日間で171人のアンケート回答者を獲得。

2. 事例～地域に密着すること

- 顧客との距離を縮める
- 顧客一人ひとりと向き合う
- 自らの商いを自ら知る
- 自らの強みを自ら知る
- 地域を担う主役の一人であることを自覚する
- 経済を担う主役の一人であることを自覚する

3. 地域貢献とCSR(企業の社会的責任)

渋澤栄一

日本資本主義の父といわれ、第一国立銀行(現みずほ銀行)や東京証券取引所などといった多種多様な企業の設立・経営に関わった。

『論語と算盤』を著し、「**道德経済合一説**」という理念を打ち出した。

「**富をなす根源は何か**と言え、仁義道德。正しい道理の富でなければ、その富は完全に永続することができぬ。」

★P・F・ドラッカーが絶賛した渋澤栄一。その主著『マネジメント』において、彼は次のように述べている。

《率直に言って私は、経営の「社会的責任」について論じた歴史人物の中で、かの偉大な明治を築いた偉大な人物の一人である渋澤栄一の右に出るものを知らない。彼は世界の誰よりも早く、経営の本質は「責任」にほかならないということを見抜いていたのである》

《本書全巻を貫くものは、結局、渋澤栄一がかつて喝破した「経営の本質は“責任”にほかならない」という主題につきるといえる》 『マネジメント』ダイヤモンド社版日本序文

3. 地域貢献とCSR(企業の社会的責任)

近江商人の家訓

「**三方(売り手・買い手・世間)よし**」

石田梅岩の記述

「**実の商人は、先も立、我も立つことを思うなり**」

住友家の家訓

「**名誉を害し、信用を傷付けるの挙動あるべからず**」

岩崎家(三菱)の家訓

「**三綱領**」1930年代に明記

- 「**所期奉公(しよきほうこう)**」=期するところは社会への貢献
- 「**処事光明(しよじこうめい)**」=フェアプレイに徹する
- 「**立業貿易(りつぎょうほうえき)**」=グローバルな視野で

3. 地域貢献とCSR(企業の社会的責任)

1. まちづくりの取組への協力
2. 地域経済活性化の推進
3. 子供、若者、高齢者、障害者等も含めた生活者への配慮
4. 防犯・防災への協力
5. 環境対策の推進
6. 交通対策の実施

「商売(ビジネス)」を前提として、その取組が、

- ①どんな関係をもつステイクホルダーに係ることか
- ②そのステイクホルダーにとってどんな利益になるのか
- ③その利益はどんなかたちで当社の事業に影響するのか
- ④利益還元型で取り組むことについて説明責任は果たせるか
- ⑤そもそもそれは地域貢献なのか(当然の責任ではないのか)

4. 大型店は何をなすべきか～私からのご提案

